

厳島神社：平家納経のため網袋

33 本から成る一式の装飾的な経典の巻物「平家納経」は、この神社が所蔵する極めて貴重な多くの宝物の中でも最も重要なものです。強力な政治家であり宮廷の大物でもあった平清盛（1118～1181 年）が、信仰心を示す捧げ物および平家の力の象徴として厳島神社に奉納しました。1164 年に贈られたこの巻物は、入れられていた箱と、その箱を持ち運ぶのに使われた網状の袋と共に、完全な状態を留めています。ここに複製品が展示されている半透明の網袋は、銅製の保管箱を運んでいる間もその表面に施された複雑な金と銀の装飾が見えるようにするために使われました。現物は国宝に指定されています。